

ナバナ栽培 今年も面積拡大！！

湖東地域では、「JA 東びわこ」と連携して平成 24 年度から園芸推進品目の一つとしてナバナ栽培を推進しています。今年度は、栽培面積の拡大と水稲跡における移植栽培の推進に重点をおいて活動した結果、栽培面積が昨年度に比べ約 1 ha 増の 3.4ha となりました。

当管内のナバナの栽培面積は年々増加していますが、播種時期の遅れ等から収穫開始が遅くなり、収量が低いという課題があります。特に水稲跡栽培では、水稲の収穫からナバナの播種適期までの期間が短いことから、この時期に降雨が多いと播種が遅れる問題がありました。

このため、栽培研修会や情報誌「水田野菜のススメ」を通じて、適期播種の徹底と水稲跡での移植栽培の推進を行ってきました。移植栽培の推進には、秋冬野菜用に JA が導入された底面給水育苗と移植機を活用しました。その結果、水稲跡栽培 2.5ha のうち約半分の 1.2ha において移植栽培が行われ、今年度はほとんどのほ場で年内に出荷開始できる見込みです。

作付後の現地研修会では、新規栽培者の対象を中心に摘芯作業や病害虫防除等について、実際の作業方法や生長点付近に発生しているアブラムシを見てもらったことにより、理解が深まったと思われます。

今後も研修会や情報紙の発行を通じて収量や品質の向上とさらなる面積拡大ができるよう支援していきます。



大幅に増加した移植栽培



収穫前の現地研修会

